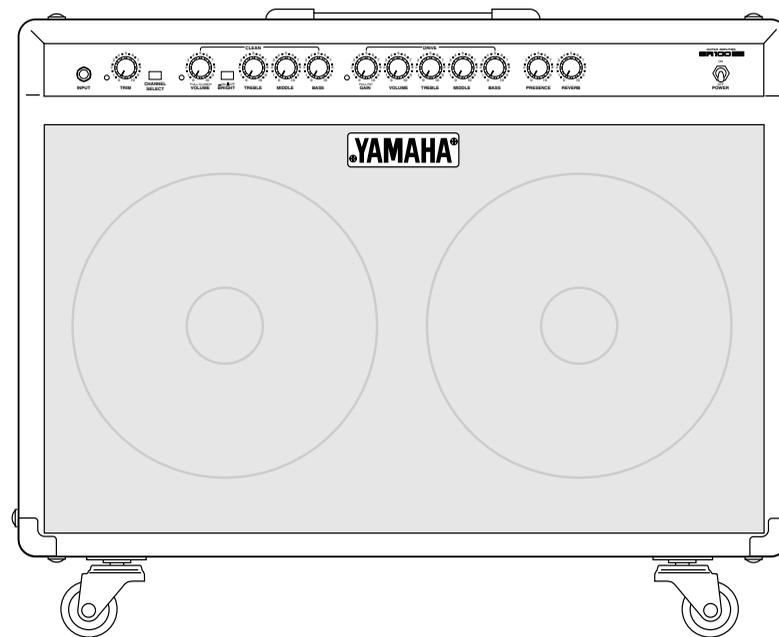
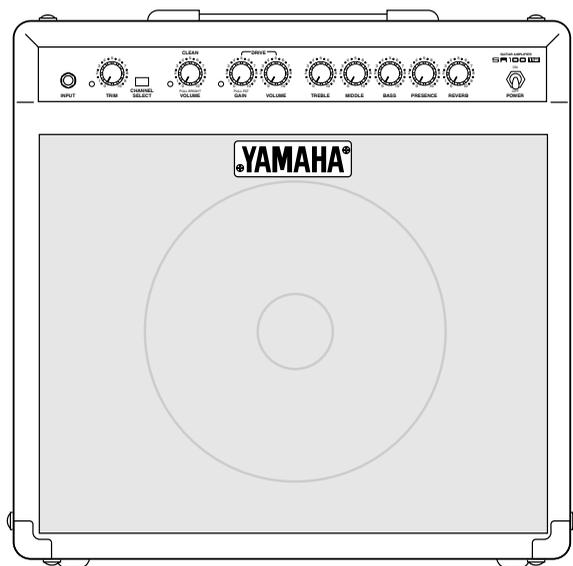




GUITAR AMPLIFIER
SR100 112
SR50 112

GUITAR AMPLIFIER
SR100 212

取扱説明書



安全へのこころがけ



注意
感電の恐れあり
キャビネットをあけるな



注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。修理は、サービスセンターに依頼してください。

このラベルは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを示しています。（本体に貼付されています。）

火災・感電・人身傷害の危険を防止するには

～以下の指示を必ず守ってください～

絵表示について

この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。



注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

例： → 感電注意



禁止の行為を告げるものです。

例： → 分解禁止



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

例： → 電源プラグをコンセントから抜く



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。



この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



この機器を分解したり、改造したりしないでください。火災、感電の原因となります。



修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ずサービスセンターに相談してください。



次のような場所での使用や保存はしないでください。火災、感電の原因となります。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。



電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。100V以外では火災、感電の原因となります。



電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。電源コードに傷がつかます。火災、感電の原因となります。



この機器を単独で、あるいはヘッドフォン、外部アンプ、外部スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程の音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。



この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対に入れないでください。火災、感電の原因となります。



次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードなどを取り外し、サービスセンターに修理を依頼してください。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。又、過度に積重ねての使用はしないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



落雷の恐れのある場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。



この機器は、正常な通気が妨げられることのない所に設定して、使用してください。



電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。



長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れの際は、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

この製品は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

ごあいさつ

このたびは、YAMAHAギターアンプファイアSR100-212/SR100-112/SR50-112をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

SRシリーズギターアンプファイアは、幅広いサウンドキャラクターを簡単な操作で引き出せる、シンプル&ハイクオリティな、ビルトインタイプのギターアンプです。

本機の優れた性能をフルに発揮させると共に、末永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますよう、お願いいたします。

目次

SRシリーズギターアンプの特長	2
使用上の注意	2
仕様	3
サウンドメイクのポイント	4
フロントパネル	
SR100-212	6
SR100-112/SR50-112	8
リアパネル	10
ブロックダイアグラム	
SR100-212	12
SR100-112/SR50-112	13
サービスについて	14



これは日本電子機械工業会
「音のエチケット」キャン
ペーンのロゴマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するののも一つの方法です。

音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

SRシリーズギターアンプの特長

★クリーン／ドライブの2チャンネル仕様

クリアなサウンドとクランチサウンドの2タイプの音作りができるクリーンチャンネル。(SR100-212のみ)

高域と低域が強調されたディストーションサウンドに中域を持ち上げるファット機能を追加したドライブチャンネル。

2つのチャンネルの切り換えはフットスイッチでも行なえます。

★1台のアンプで3台のアンプキャラクター

パワーアンプ回路にダンピングファクターコントロール機能を組み込み、チューブアンプのサウンド特性、ソリッドステートアンプのサウンド特性、スタンダードヤマハアンプのサウンド特性の3キャラクターを自由に使い分けられるようにしました。

求めるサウンドやシチュエーションに合わせて、アンプ本来の持つサウンド特性自体を選ぶことができます。

★ギターアンプ本来の音を追及

FETを使用したプリアンプ、ダンピングファクターコントロール、TRIMコントロールなど、ギターアンプに求められる音を追及したコントロール回路。この音をしっかり表現するためのキャビネット構造とスピーカー。すべての要素をチェックし、創り上げました。

★ベストマッチングのためのTRIMコントロール

どんなギターでもベストの条件でアンプにマッチングできる、TRIMコントロールを装備。常にアンプの機能を最大限に発揮できます。

★セレクション／エレクトロボイス社製スピーカー

SR100-212、SR50-112にはセレクション社製、SR100-112にはエレクトロボイス社製スピーカーを搭載。ハイパワーに耐え、低域から高域までバランスよく表現します。

★アキュトロニクス社製リバーブ

リバーブには、アキュトロニクス社製のスプリングタイプを採用。フットスイッチでリバーブのON/OFFを切り換えることもできます。

使用上の注意

◆ スピーカー等の損傷を防ぐため、接続コードの脱着時や電源のON/OFF時には、CLEAN、DRIVE両チャンネルのVOLUMEおよびGAINを必ず反時計方向に回し、音量を“0”にしてください。

◆ 本機とスピーカーとの接続は、必ず電源をOFFにしてから行なってください。

◆ スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。

◆ 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。

◆ 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離してご使用ください。

◆ ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色の原因となりますので、お手入れの際は必ず柔らかい布でカラぶきしてください。

仕様

※ A : CLEAN CH. B : DRIVE CH. 指定なき周波数は1 kHz

モデル	SR50-112	SR100-112	SR100-212
定格出力 T. H. D. 10 %	8 Ω 50 W R. M. S.	8 Ω 100 W R. M. S.	4 Ω 100 W R. M. S.
スピーカー	セレクション G12M-70 x 1	エレクトロボイス 12インチ x 1	セレクション G12M-70 x 2
エンクロージャー	後面開放型		
入力感度/インピーダンス 1 kHz, B CH., TONE : center, TRIM, GAIN, VOLUME : MAX.	-78 dBm / 1 MΩ	←	←
入力レベル/インピーダンス EFFECT RETURN	-20 dBm / 0 dBm 68 kΩ	←	←
出力レベル/インピーダンス SP. OUT SLAVE OUT (可変) EFFECT SEND	定格出力の項参照 +8 dBm MAX. / 1 kΩ -20 dBm / 0 dBm 2 kΩ	定格出力の項参照 +11 dBm MAX. / 1 kΩ -20 dBm / 0 dBm 2 kΩ	定格出力の項参照 +8 dBm MAX. / 1 kΩ -20 dBm / 0 dBm 2 kΩ
残留ノイズ VOLUME : MIN., フィルター無し	-56 dBm以下	←	←
BRIGHT特性 A CH., 10 kHz	+12 dBアップ	←	←
トーンコントロール PRESENCE 10 kHz 基準 TREBLE 10 kHz 基準 MIDDLE 1 kHz 基準 BASS 100 Hz 基準	A, B 共通 +9 dB, -2 dB +14.5 dB, -12 dB +10 dB, -6 dB +2 dB, -6 dB	←	A CH. B CH. +9 dB, -2 dB +9 dB, -2 dB +13 dB, -10 dB +8 dB, -3 dB +10 dB, -6 dB +9 dB, -7 dB +2 dB, -5 dB +2 dB, -6 dB
リバーブコントロール REVERB	リバーブ(スプリング式) アキュトロニクス 4EB3C1B		
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ D. F. C. 切換スイッチ ・ チャンネル切換用フットスイッチ端子 ・ リバーブ ON / OFF 用フットスイッチ端子 		
電源	AC 100V, 50 / 60 Hz		
消費電力	40 W	65 W	65 W
寸法(WxHxD)	477 x 477 x 272 mm	←	689 x 567 x 283 mm (キャスター含む)
重量	18 kg	20.5 kg	26 kg

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

サウンドメイクのポイント

本アンプには、D. F. C. スイッチ、クリーンチャンネル、ドライブチャンネル、トリムコントロール、4トーンコントロールなど、サウンドメイクのための道具が数多く搭載されています。これらを上手に使い、あなたのイメージするサウンドを追求してください。

● TRIMコントロールの設定

エレクトリックギターの出カレベルは、ピックアップや内部サーキットの違いなどにより、本当にさまざまです。

TRIMコントロールで、接続するギターの入力レベルをアンプに最適のレベルに調整することにより、ピッキングの微妙なニュアンスからストロークのアタック感まで、よりリアルに表現することができるようになります。

このTRIMコントロールの設定が適正でないと、ノイズやハウリング、音ワレなどの原因となりますので、以下の説明をよく読んで正しく設定してください。

【設定の手順】

1. VOLUME, GAIN, TRIMツマミをすべて“0”にした状態でギターをINPUTジャックへ接続します。
2. ギターのボリュームを、使用するポジションに設定します。
3. TRIMツマミを中央位置に合わせます。(通常は中央位置でOKです。)
4. ギターを強く弾いたときに、TRIMインジケーターが点灯しない範囲で右いっぱいの位置にTRIMツマミを設定します。

● D. F. C. スイッチの設定

D. F. C. (ダンピングファクターコントロール)とは、スピーカーユニットの制動特性をコントロールすることによって、一台のギターアンプでチューブアンプやトランジスタアンプなどのサウンドキャラクターを持たせることのできる、新しいアイディアの回路です。

本アンプでは、リアパネルのD. F. C. スイッチによって、ダンピングファクターをDRY / NORMAL / WETの3段階に設定できます。

- **DRY**に設定すると、小さいダンピングファクターに設定されます。右ページのグラフに見られるように低域と高域が強調されます。

そのサウンドの特徴は、

- ・ 音の輪郭を整える(ソリッドな感じをやわらげる)
- ・ 強力なパワー感を持つ低音
- ・ ウォームでネバリがある

大型チューブアンプのような、パワフルでウォームなサウンドキャラクターを持つギターアンプとして動作します。

- **NORMAL**に設定すると、従来のヤマハギターアンプ(トランジスタタイプ)と同程度のダンピングファクターを持った、オールジャンルに対応できるバランスのとれたギターアンプとして動作します。

- **WET**に設定すると、マイナス(∞以上)のダンピングファクターに設定されず。右ページのグラフに見られるように低域から高域まで大きなバラツキがなくなります。

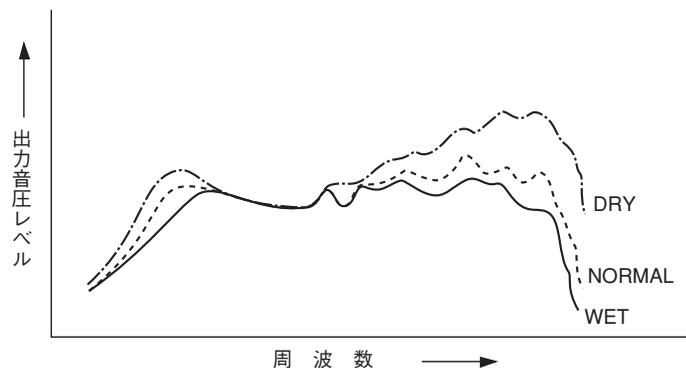
そのサウンドの特徴は、

- ・ レスポンスが良く、アタック感が損なわれない
- ・ ピッキングのニュアンスを忠実に表現できる
- ・ 堅く絞まった低音
- ・ ソリッドでストレート

従来のトランジスタアンプ以上に強力なレスポンスを持ったギターアンプとして動作します。

実際に各ポジションでのサウンドをご自分の耳でお確かめになってください。

● 音圧特性の変化(周波数特性)



● クリーンチャンネルでの音作り

CLEAN(クリーン)チャンネルでは、歪みのないクリアなサウンドやクランチサウンド(SR100-212)を作り出すことができます。

VOLUMEを上げて使ってもあくまでクリアなノンディストーションサウンド、BRIGHTスイッチをON(■)すれば、さらに高域が強調されたブライトサウンドが得られます。

VOLUMEつまみを手前に引けば、クランチ機能がONになり、ナチュラルでコシのある歪みが得られます。(SR100-212)

● ドライブチャンネルでの音作り

DRIVE(ドライブ)チャンネルでは、2タイプのディストーションサウンドを作り出すことができます。

GAINつまみを右へ回すほど、音量が上がりディストーションが強力にかかるので、GAINつまみとVOLUMEつまみのバランスを調整することによって、歪み具合をコントロールします。

さらにGAINつまみを手前に引けば、ファット機能がONになり、中域が強調された太くネバリのあるサウンドが得られます。

● フットスイッチでのチャンネルの切り換え

リアパネルのCH. SELECTフットスイッチジャックに別売のヤマハフットスイッチFS-1を接続すると、クリーンチャンネル/ドライブチャンネルの切り換えを足元で行なうことができます。→“リアパネル(→10ページ)”参照
クリーンチャンネルをバックアップ時のセッティングに、ドライブチャンネルをソロ時のセッティングにして、フットスイッチでスピーディーに切り換えるなどができます。

● エフェクターの接続

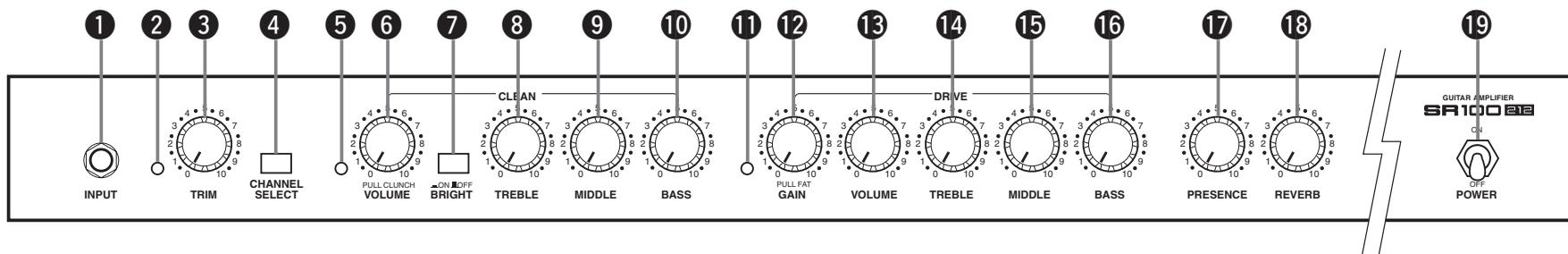
コーラスやディレイなどのエフェクターを使用する場合は、リアパネルのEFFECT SEND / RETURNジャック間に接続します。SRアンプで音作りしたサウンドにエフェクトをかけることができます。

● フットスイッチでのリバーブのON/OFF

リアパネルのREVERBフットスイッチジャックに別売のヤマハフットスイッチFS-1を接続すると、リバーブ効果のON/OFFを足元で切り換えることができます。→“リアパネル(→10ページ)”参照
リバーブ効果の設定はフロントパネルのREVERBつまみで行ないます。

フロントパネル

● SR100-212



① INPUTジャック

入力用ジャックです。ギターをここに接続します。

② TRIMインジケータ－

入力レベルを監視します。このインジケータ－が点灯しない範囲で、③のTRIMコントロールを調整します。

③ TRIMコントロール

ギターの入力レベルを調整するツマミです。
“サウンドメイクのポイント(→ 4ページ)”をよくお読みになり、適正な位置に設定してください。

④ チャンネルセレクトスイッチ

クリーンチャンネル(CLEAN)とドライブチャンネル(DRIVE)とを切り換えるスイッチです。

選ばれたチャンネルのインジケータ－、⑤または⑩が点灯します。

※ フットスイッチでチャンネルを切り換えることもできます。
→ “リアパネル(→ 10ページ)” ⑧フットスイッチジャック(CH. SELECT)フットスイッチを接続すると、このスイッチは動かなくなります。

● CLEAN(クリーン)チャンネル

⑤ CLEANチャンネルインジケータ－

クリーンチャンネルが選ばれている時に点灯します。

⑥ VOLUMEコントロール(PULL CLUNCH)

クリーンチャンネルの音量を調整します。
また、クリーンチャンネル使用時にツマミを手前に引くと、クランチ機能がONになり、ピッキングのニュアンスを残したままでコシのある歪みを得ることができます。

⑦ BRIGHTスイッチ

ON(▲)にするとブライツ機能が働き、高域が強調されたサウンドになります。

⑧ TREBLEコントロール

高域のレベルを調整します。

⑨ MIDDLEコントロール

中域のレベルを調整します。

⑩ BASSコントロール

低域のレベルを調整します。

● DRIVE(ドライブ)チャンネル

⑪ DRIVEチャンネルインジケータ

ドライブチャンネルが選ばれている時に点灯します。

⑫ GAINコントロール(PULL FAT)

ドライブチャンネルのディストーションのかかり具合を調整します。

ツマミを右へ回すほど音量が上がると共に、ディストーションが強くなります。

また、ドライブチャンネル使用時にツマミを手前に引くと、ファット機能がONになり、中域が強調された太い音が出られます。

※ このツマミを“0”の位置にすると、⑬ VOLUMEが上がっていても音が出なくなります。

⑬ VOLUMEコントロール

ドライブチャンネルの音量を調整します。

⑭ TREBLEコントロール

高域のレベルを調整します。

⑮ MIDDLEコントロール

中域のレベルを調整します。

⑯ BASSコントロール

低域のレベルを調整します。

⑰ PRESENCEコントロール

TREBLEよりもさらに高い超高域のレベルを調整します。

設定はCLEAN/DRIVE両チャンネルに共通です。

⑱ REVERBコントロール

リバーブの深さを調整します。

設定はCLEAN/DRIVE両チャンネルに共通です。

リバーブをかけない場合は、ツマミを“0”の位置にしてください。

※ フットスイッチでリバーブのON/OFFを切り換えることもできます。

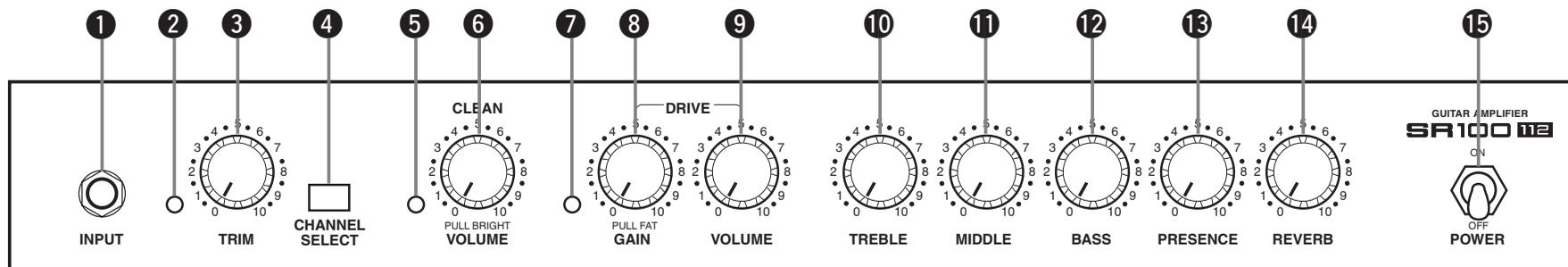
→“リアパネル(→10ページ)”⑨フットスイッチジャック(REVERB)

⑲ POWERスイッチ

電源スイッチです。ONにすると、⑤ CLEAN / ⑪ DRIVE いずれかのインジケータが点灯します。

※ 電源を入れる前に、必ず両チャンネルのVOLUME, GAINツマミを“0”にしてください。

● SR100-112 / SR50-112



① INPUTジャック

入力用ジャックです。ギターをここに接続します。

② TRIMインジケータ

入力レベルを監視します。このインジケータが点灯しない範囲で、③のTRIMコントロールを調整します。

③ TRIMコントロール

ギターの入力レベルを調整するつまみです。

“サウンドメイクのポイント(→ 4ページ)”をよくお読みになり、適正な位置に設定してください。

④ チャンネルセレクトスイッチ

クリーンチャンネル(CLEAN)とドライブチャンネル(DRIVE)とを切り換えるスイッチです。

選ばれたチャンネルのインジケータ、⑤または⑦が点灯します。

※ フットスイッチでチャンネルを切り換えることもできます。

→“リアパネル(→ 10ページ)”⑧フットスイッチジャック(CH. SELECT)

フットスイッチを接続すると、このスイッチは働かなくなります。

● CLEAN(クリーン)チャンネル

⑤ CLEANチャンネルインジケータ

クリーンチャンネルが選ばれている時に点灯します。

⑥ VOLUMEコントロール(PULL BRIGHT)

クリーンチャンネルの音量を調整します。

また、クリーンチャンネル使用時にツマミを手前に引くと、ブライツ機能がONになり、高域が強調されたサウンドになります。

● DRIVE(ドライブ)チャンネル

⑦ DRIVEチャンネルインジケータ

ドライブチャンネルが選ばれている時に点灯します。

⑧ GAINコントロール(PULL FAT)

ドライブチャンネルのディストーションのかかり具合を調整します。

ツマミを右へ回すほど音量が上がると共に、ディストーションが強くなります。

また、ドライブチャンネル使用時にツマミを手前に引くと、ファット機能がONになり、中域が強調された太い音が得られます。

※ このツマミを“0”の位置にすると、⑨ VOLUMEが上がっていても音が出なくなります。

⑨ VOLUMEコントロール

ドライブチャンネルの音量を調整します。

⑩ TREBLEコントロール

高域のレベルを調整します。

設定はCLEAN/DRIVE両チャンネルに共通です。

⑪ MIDDLEコントロール

中域のレベルを調整します。

設定はCLEAN/DRIVE両チャンネルに共通です。

⑫ BASSコントロール

低域のレベルを調整します。

設定はCLEAN/DRIVE両チャンネルに共通です。

⑬ PRESENCEコントロール

⑩ TREBLEよりもさらに高い超高域のレベルを調整します。

設定はCLEAN/DRIVE両チャンネルに共通です。

⑭ REVERBコントロール

リバーブの深さを調整します。

設定はCLEAN/DRIVE両チャンネルに共通です。

リバーブをかけない場合は、ツマミを“0”の位置にしてください。

※ フットスイッチでリバーブのON/OFFを切り換えることもできます。

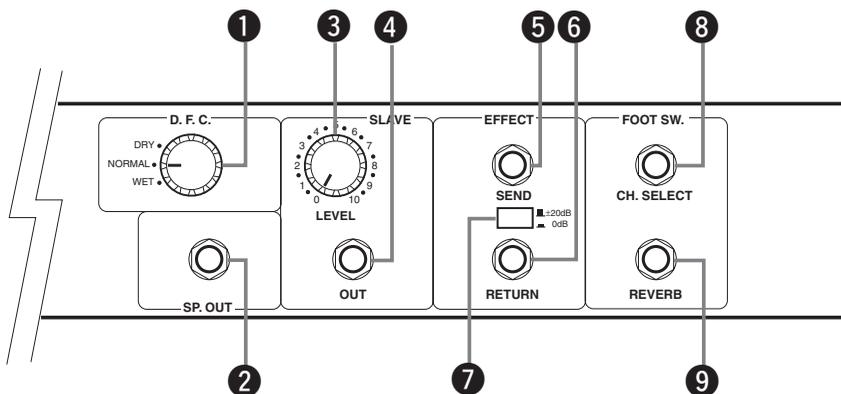
→“リアパネル(→10ページ)”⑨フットスイッチジャック(REVERB)

⑮ POWERスイッチ

電源スイッチです。ONにすると、⑤ CLEAN / ⑦ DRIVE いずれかのインジケータが点灯します。

※ 電源を入れる前に、必ず両チャンネルのVOLUME, GAINツマミを“0”にしてください。

リアパネル



① D. F. C. (ダンピングファクター・コントロール) スイッチ

ギターアンプのサウンドキャラクターを変えることができるスイッチです。
→“サウンドメイクのポイント(→4ページ)”

DRY : 低域と高域が強調された、チューブアンプのようなウォームでネバリのあるサウンドキャラクターが得られます。特に低域がパワフルに前面に出てきます。

NORMAL : 従来のヤマハギターアンプの持つレスポンスと、バランスのとれたサウンドキャラクターが得られます。オールジャンルに対応できるソリッドステートアンプ。

WET : ピッキングやタッチの細かいニュアンスも、ハードで鋭いカッティングも忠実に表現できる、速いレスポンス特性とワイドなダイナミクスを持っています。TREBLEを上げるとアタッキーでソリッドなサウンドキャラクターが得られます。

※ TREBLEとPRESENCEで高域を強調すると、アタッキーでソリッドなサウンドになります。

② SP. OUTジャック

本アンプの内蔵スピーカーがここに接続されていますが、必要に応じ内蔵スピーカーを外して、外部スピーカーを接続することができます。外部スピーカーを使用する場合は、必ずアンプの規格(下記)に合ったスピーカーを接続してください。

● 接続できるスピーカーの条件

- ・SR100-212 : 許容入力100W以上, システムインピーダンス4Ω
- ・SR100-112 : 許容入力100W以上, システムインピーダンス8Ω
- ・SR50-112 : 許容入力50W以上, システムインピーダンス8Ω

③ SLAVE LEVELコントロール

④ SLAVE OUTジャックから出力する信号のレベルを調整します。

④ SLAVE OUTジャック

② SP. OUTジャック出力と同じ信号がラインレベル(+8dBm : MAX/1kΩ)で出力されます。

③ SLAVE LEVELコントロールで出力レベルを自由に設定できるので、ミキサーへのライン送りやアンプ増設用のアウトとして使用できます。

⑤ EFFECT SENDジャック

⑥ EFFECT RETURNジャック

外部エフェクターを挿入するためのジャックです。

本機でサウンドメイクした信号にエフェクトをかけることができます。

⑥ EFFECT RETURNジャックにプラグを差し込むと、内部回路が切れてエフェクターからの信号が入力され、リバーブ回路へと送られます。

また、⑤ EFFECT SENDジャックはプリアウトジャックとして、⑥ EFFECT RETURNジャックはメインインジャックとして使用することもできます。

7 EFFECT SEND / RETURNレベル切り換えスイッチ

5 EFFECT SENDジャックの出力レベルおよび6 EFFECT RETURNジャックの入力レベルを、-20dBまたは0dBに設定できます。

接続する外部エフェクターの入力レベルに合わせて切り換えてください。

8 フットスイッチジャック(CH. SELECT)

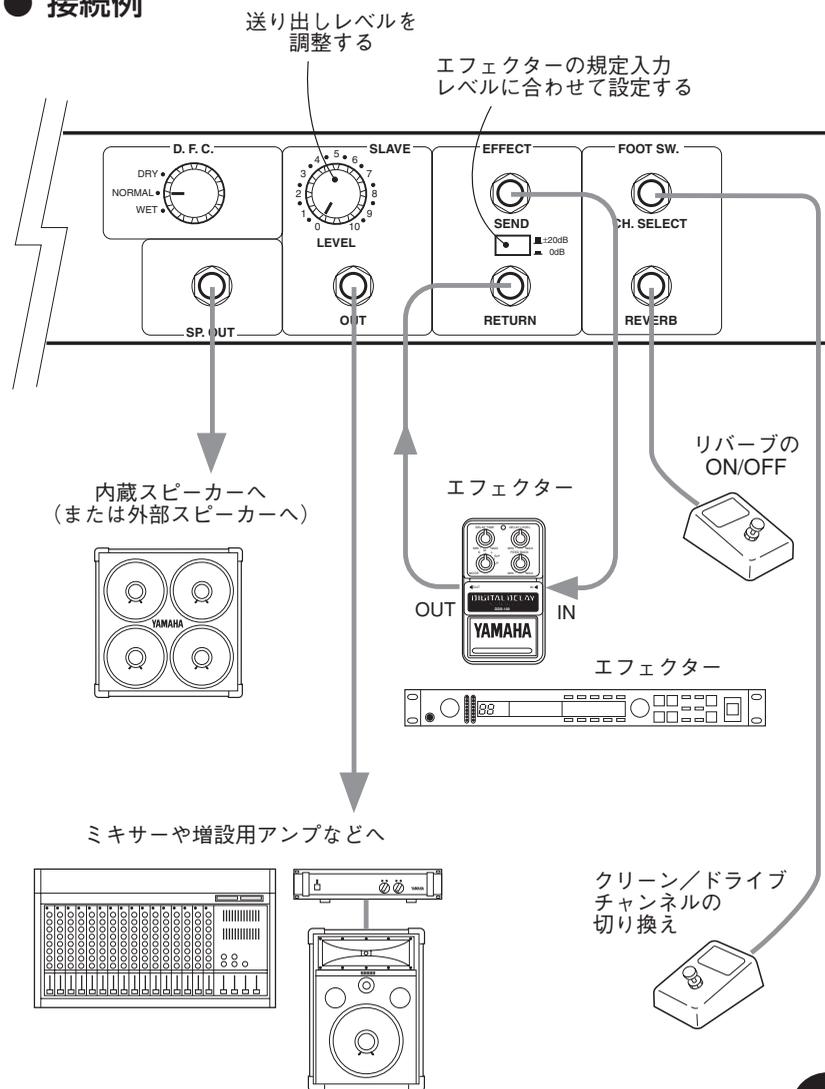
別売のヤマハフットスイッチFS-1をここに接続すると、クリーンチャンネルとドライブチャンネルの切り換えを足元で行なうことができます。

※ フットスイッチ接続中は、フロントパネルのチャンネルセレクトスイッチでのチャンネル切り換えはできません。

9 フットスイッチジャック(REVERB)

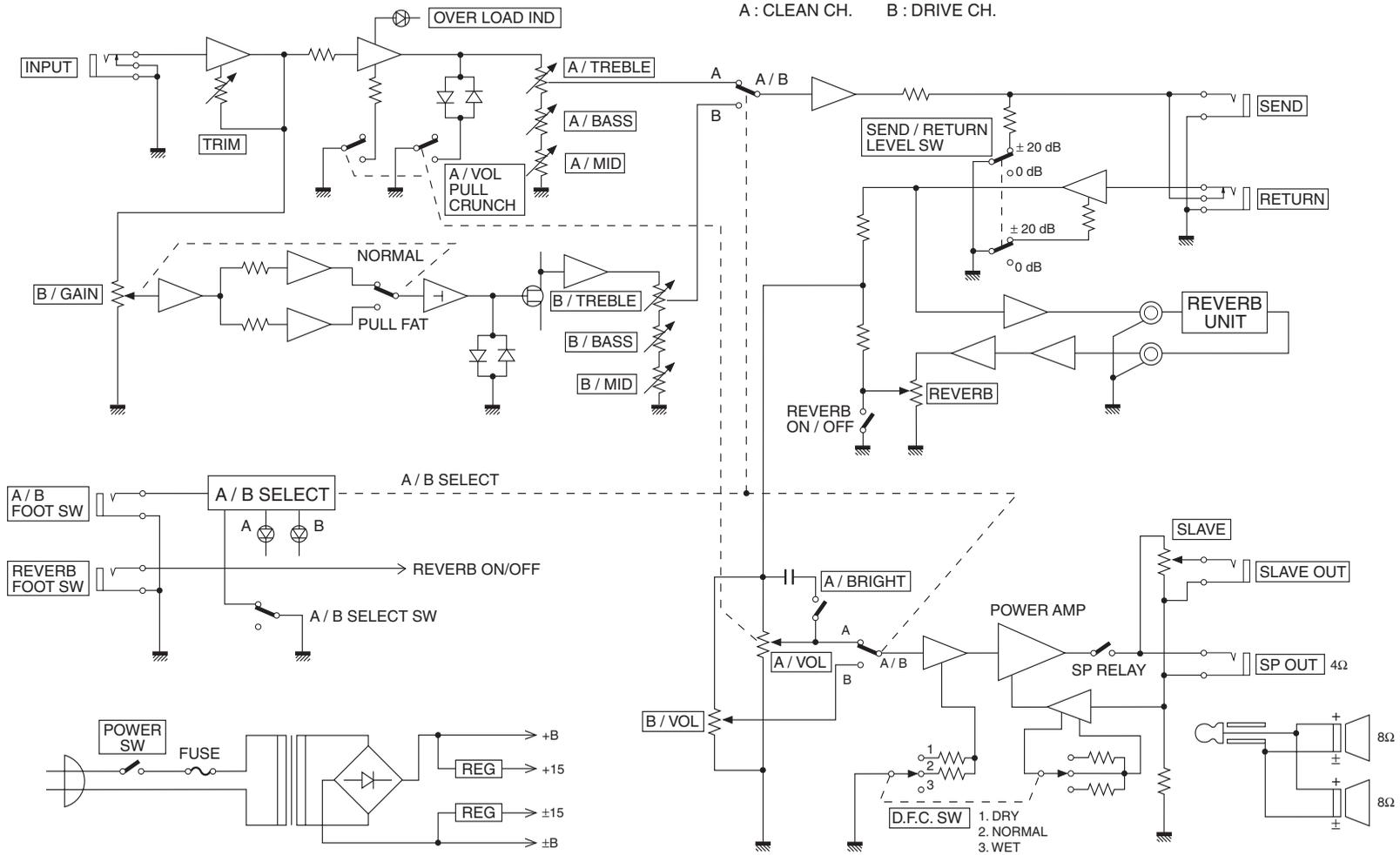
別売のヤマハフットスイッチFS-1をここに接続すると、リバーブ効果のON/OFFを足元で行なうことができます。

● 接続例

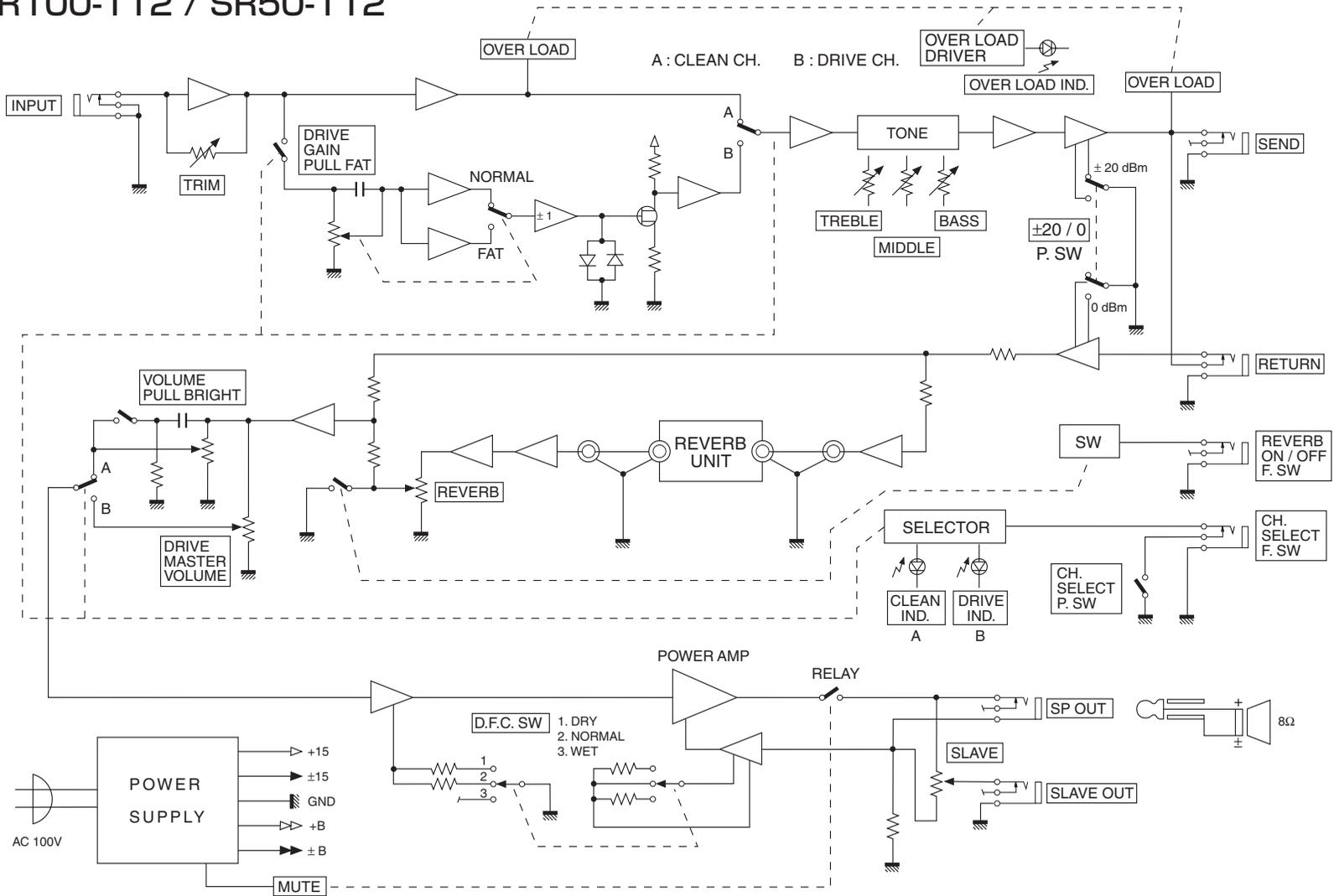


ブロックダイアグラム

● SR100-212



● SR100-112 / SR50-112



サービスについて

1. 保証期間

本機の保証期間は、ご購入(保証書による)より満1ヶ年(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は日本国内でのみ有効)と致します。

2. 保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。

また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

3. アフターサービス

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたら、お買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

4. 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合いは、使用環境や使用時間などによって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用頂くためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ、リレー類、入出力ジャック、接続端子など

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50	ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町 5-7	仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2-1-1	京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町 200	ヤマハ(株)和田工場6号館2階	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中区玉川町 2-1-2	ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下 1-16	ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町 8-7	(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4		TEL (092) 472-2134
[本社] CSセンター	〒435-0016	浜松市和田町 200	ヤマハ(株)和田工場6号館2階	TEL (053) 465-1158

ヤマハ株式会社 各地区お問い合わせ先

E M 営業統括部

E M 北海道	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目 1-50	ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
E M 仙台	〒980-0804	仙台市青葉区大町 2-2-10		TEL (022) 222-6147
E M 東京	〒108-8568	東京都港区高輪 2-17-11		TEL (03) 5488-5471
E M 名古屋	〒460-8588	名古屋市中区錦 1-18-28		TEL (052) 201-5199
E M 大阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場 3-12-9	心斎橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
E M 九州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4		TEL (092) 472-2130
E M 企画推進室	〒108-8568	東京都港区高輪 2-17-11		TEL (03) 5488-5445

※住所及び電話番号、名称は変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

弦打楽器事業部 ギタードラム営業部 国内営業課
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10番1号 053-460-2433